

平成 年 月 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 酒田森林環境循環型住宅

グループの名称: さかた「すぎの子」会

(グループ代表者)

代表者名: 大井 勝喜 印

代表者所属先: 株式会社 大井工務店

代表者住所: 山形県酒田市みずほ1丁目21-11

電話番号: 0234-22-2262

(グループ事務局)

事務局事業者名: 株式会社 大井工務店

事務局担当者名: 大井 美紀 印

事務局住所: 山形県酒田市みずほ1丁目21-11

事務局電話番号: 0234-22-2262

事務局FAX: 0234-22-2263

事務局担当者E-mail: ooi@ooi-koumuten.jp

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅		(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域					
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会		(結成年月) 2011年4月1日					
3. 地域材の名称・産地・認証制度等(必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域	(認証制度等) やまがた県産木材利用センター					
4. グループ代表者名(必須)	大井勝喜	5. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社大井工務店					
6. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社大井工務店	7. グループ事務局事業者所在地(必須)	山形県酒田市みずほ1丁目21-11					
8. グループ事務局事業者TEL(必須)	0234-22-2262	9. グループ事務局事業者FAX(必須)	0234-22-2263					
10. グループ事務局担当者名(必須)	大井 美紀	11. グループ事務局担当者E-mail(必須)	katsuyoshi@ooi-koumuten.jp					
12. グループ構成員(必須)								
事業者名		代表者名	所在地	平成23年(1月~12月)実績				
I. 原木供給			構成員数: 1	地域材(丸太)供給量(m ³)				
I-1	荒生木材(有)	荒生精一	山形県酒田市大蔵字後口山3	5,800 m ³				
I-2	0	0	0	0 m ³				
II. 製材・集成材製造・合板製造			構成員数: 2	生産量				
				うち該当地域材				
II-1	升川製材(株)	高橋健一	山形県酒田市宮海字明治99-5	7,300 m ³	5100 m ³			
II-2	(有)一條製材所	小野浩弥	山形県酒田市一条字畑ヶ中13番地	2,500 m ³	0 m ³			
II-3	0	0	0	0 m ³	0 m ³			
II-4	0	0	0	0 m ³	0 m ³			
III. 建材(木材)流通			構成員数: 1	木材供給量	うち該当地域材			
III-1	金屋株式会社	風間眞一	山形県鶴岡市平京田字屋敷廻1-4	0 m ³	0 m ³			
III-2	0	0	0	0 m ³	0 m ³			
IV. プレカット			構成員数: 1	プレカット戸数	うち長期優良住宅			
IV-1	山北木材加工協同組合	富樫秀平	新潟県村上市北赤谷154-1	700 戸	20 戸			
IV-2	0	0	0	0 戸	0 戸			
V. 設計			構成員数: 2	木造住宅設計戸数	うち長期優良住宅			
V-1	(株)大井工務店2級建築士事務所	大井勝喜	山形県酒田市みずほ1丁目21-11	10 戸	3 戸			
V-2	㈲池澤工務店2級建築設計事務所	池澤浩志	酒田市住吉町13-25	1 戸	0 戸			
V-3	0	0	0	0 戸	0 戸			
VI. 施工			構成員数: 5	元請の新築住宅供給戸数	うち木造の長期優良住宅			
(元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)			被災地	平成23年実績	直近3年平均			
				平成23年実績	直近3年平均			
VI-1	(株)大井工務店	大井勝喜	山形県酒田市みずほ1丁目21-11	0	10 戸	10 戸	3 戸	3 戸
VI-2	(有)池澤工務店	池澤 武志	酒田市住吉町13-25	0	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸
VI-3	佐藤建業	佐藤政喜	酒田市黒森字草刈谷地117-15	0	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸
VI-4	本田建築	本田 幸弘	酒田市手蔵田字蔵南43-1	0	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸
VI-5	近藤建築	近藤 智也	酒田市北里町5-2	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-6	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-7	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-8	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-9	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-10	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-11	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VI-12	0	0	0	0	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
VII.			構成員数: 1	0	0			
VII-1	協同組合やまがたの木乾燥センター	富樫洋一	山形県酒田市宮海字明治99-3	0	0	0		
VIII.			構成員数: ○○	0	0			
VIII-1	0	0	0	0	0	0		

- 注1) <様式2-1-2>は<様式2-1-1>とリンクが組まれています。グループ構成員は<2-1-2>に記入してください。
- 注2) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。
- 注3) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成21年から23年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- 注4) 業種(I、II...)毎に、平成23年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- 注5) I~VI以外の業種の構成員がある場合は、VII以降に記載してください。
- 注6) 国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない(グループ構成員として記載できない)が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を様式2-2において説明してください。
- 注7) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存在する場合、○を付けて下さい。
参照: 内閣府HP (<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)

<グループ構成員記入用リスト>

注1 <様式 2-1-2>

注2		注3			注4						
県番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成23年(1月~12月)実績					
I. 原木供給						構成員数: 1	地域材(丸太)供給量(m ³)				
	I-1	荒生木材(有)	荒生精一	999-8215	山形県酒田市大蔵字後口山3	0234-64-3975	5,800 m ³				
	I-2										
	I-3										
	I-4										
	I-5										
	I-6										
	I-7										
	I-8										
	I-9										
	I-10										
II. 製材・集成材製造・合板製造						構成員数: 2	生産量	うち該当地域材			
	II-1	升川製材(株)	高橋健一	998-0005	山形県酒田市宮海字明治99-5	0234-34-2221	7,300 m ³	5100 m ³			
	II-2	(有)一條製材所	小野浩弥	999-8232	山形県酒田市一条字畑ヶ中13番地	0234-64-2011	2,500 m ³				
	II-3										
	II-4										
	II-5										
	II-6										
	II-7										
	II-8										
	II-9										
	II-10										
III. 建材(木材)流通						構成員数: 1	木材供給量	うち該当地域材			
	III-1	金屋株式会社	風間真一	997-0048	山形県鶴岡市平京田字屋敷廻1-4	0235-22-0002					
	III-2										
	III-3										
	III-4										
	III-5										
	III-6										
	III-7										
	III-8										
	III-9										
	III-10										
IV. プレカット						構成員数: 1	プレカット戸数	うち長期優良住宅			
	IV-1	山北木材加工協同組合	富樫秀平	959-3936	新潟県村上市北赤谷154-1	0254-77-3938	700 戸	20 戸			
	IV-2										
	IV-3										
	IV-4										
	IV-5										
	IV-6										
	IV-7										
	IV-8										
	IV-9										
	IV-10										
V. 設計						構成員数: 2	木造住宅設計戸数	うち長期優良住宅			
	V-1	株大井工務店2級建築士事務所	大井勝喜	998-0853	山形県酒田市みずほ1丁目21-11	0234-22-2262	10 戸	3 戸			
	V-2	有池澤工務店2級建築設計事務所	池澤浩志	998-0029	酒田市住吉町13-25	0234-33-3231	1 戸	戸			
	V-3										
	V-4										
	V-5										
	V-6										
	V-7										
	V-8										
	V-9										
	V-10										
	V-11										
	V-12										
	V-13										
	V-14										
	V-15										
	V-16										
	V-17										
	V-18										
	V-19										
	V-20										
VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)						構成員数: 5	元請の新築住宅供給戸数	うち木造の長期優良住宅			被災地
	VI-1	株大井工務店	大井勝喜	998-0853	山形県酒田市みずほ1丁目21-11	0234-22-2262	10 戸	10 戸	3 戸	3 戸	
	VI-2	有池澤工務店	池澤 武志	998-0029	酒田市住吉町13-25	0234-33-3231	1 戸	1 戸	戸	戸	
	VI-3	佐藤建業	佐藤政喜	998-0111	酒田市黒森字草刈谷地117-15	0234-92-3171	1 戸	1 戸	戸	戸	
	VI-4	本田建築	本田 幸弘	998-0811	酒田市手蔵田字蔵南43-1	0234-24-4782	1 戸	1 戸	戸	戸	
	VI-5	近藤建築	近藤 智也	999-8231	酒田市北里町5-2	0234-23-6096	戸	戸	戸	戸	
	VI-6										
	VI-7										
	VI-8										
	VI-9										
	VI-10										
	VI-11										
	VI-12										
	VI-13										
	VI-14										
	VI-15										
	VI-16										
	VI-17										

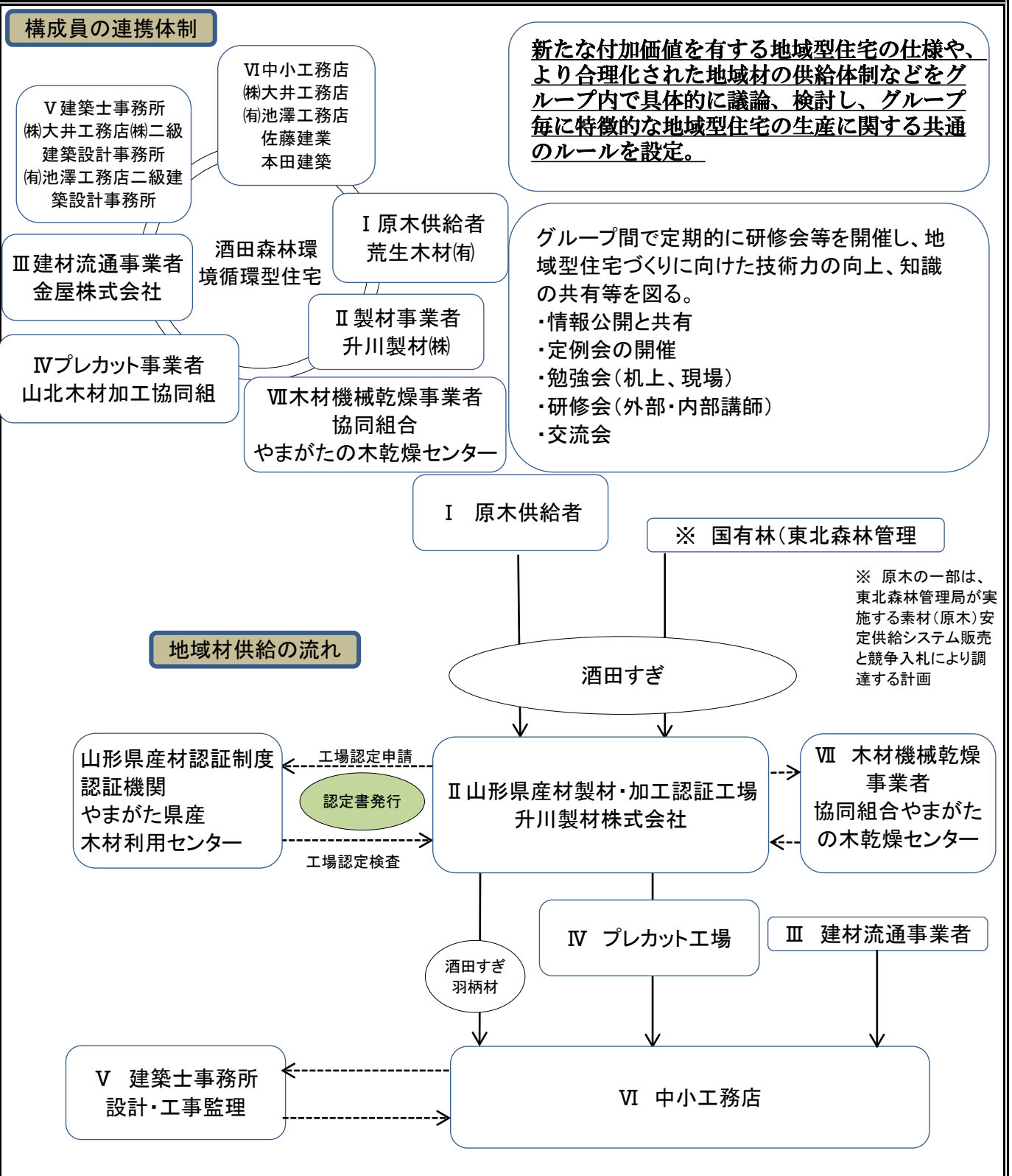
<グループ構成員記入用リスト>

注1 <様式 2-1-2>

注2		注3			注4		平成23年(1月~12月)実績				被災地	
県番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	元請の新築住宅供給戸数	うち木造の長期優良住宅	平成23年実績	直近3年平均	平成23年実績		直近3年平均
	VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)											被災地
	VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)											被災地
	VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)											被災地
	VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)											被災地
	VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)											被災地
VII. 構成員数: 1												
	協同組合やまがたの木乾燥センター	富樫洋一	998-0005	山形県酒田市宮海字明治99-3	0234-33-3566							
	協同組合やまがたの木乾燥センター											
	協同組合やまがたの木乾燥センター											
	協同組合やまがたの木乾燥センター											
VIII. 構成員数: 〇〇												

- 注1) <様式2-1-2>は<様式2-1-1>とリンクが組まれています。グループ構成員は<2-1-2>に記入してください。
- 注2) 県番号は、次のワークシートを参照してください。
- 注3) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)
- 注4) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:0000000000)
- 注5) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。
- 注6) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成21年から23年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- 注7) 業種(I、II...)毎に、平成23年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- 注8) I~VI以外の業種の構成員がある場合は、VII以降に記載してください。
- 注9) 国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない(グループ構成員として記載できない)が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を様式2-2において説明してください。
- 注10) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。
参照:内閣府HP(<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)
- 注11) 施工が少ない場合は、P-2~P-5を削除してください。
- 注12) 行が不足する場合は、行末に追加して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等(必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域
		(認証制度等) やまがた県産木材利用センター
4. 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等のフロー図等(必須)		



注1) 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等について、フロー図等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 酒田森林環境循環型住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 山形県酒田地域	
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> さかた「すぎの子」会	<small>(結成年月)</small> 平成23年4月	
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	<small>(名称)</small> 酒田杉	<small>(産地)</small> 山形県酒田地域	<small>(認証制度等)</small> やまがた県産木材利用センター
4. 地域型住宅に使用する地域材の選定に当たっての考え方 (必須)			
<p>地域材はつぎの理由から、山形県産材の認証を受けたすぎ材とする。</p> <p>山形県産材認証制度は、山形県内において、当該認証制度に参画する原木供給から製材、流通など事業者が少ないが、生産供給体制がしっかりしており、産地証明が確実に取得できるシステムになっている。山形県産材認証制度では、やまがた県産木材利用センターで、山形県産材の木材を「やまがたの木」として生産できる事業所を認証し、山形県産材の利用拡大に取り込んでいる。公共性・信頼性の高い団体等主体となって運営している制度であり、施主へのPRに資するものである。</p> <p>また山形県に一社しかない、協同組合やまがたの木乾燥センターの施設からは、地域材供給体制が出来上がっている為、製材等の含水率や強度などの品質・性能管理・性能基準が明確化になっている。</p> <p>山形県木材産業界協同組合からは、合法性・持続可能性の事業者認定・一般社団法人全国木材検査・研究協議会からはJAS認定を取得している為に、高い製品の性能が維持されている。</p> <p>山形県産材のうち酒田スギは、生育地が寒冷な気候であるため目が詰まっており、強度が比較的高く、設計者や工務店等のエンドユーザーにとって扱いやすい製品となっている。また、これらの団体は、地域材の活用を重視する我々のさかた「すぎの子」会の活動に対して協力を頂いており、地域を挙げた取組体制を構築している。</p>			
5. 地域型住宅の特性に応じ、必然的に一部の業種を含まないこととなる根拠(該当する場合のみ記載)			

注1) 各項目について分かりやすく記載して下さい。
 注2) 記載欄のスペースについては適宜調整し、原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(対象地域) 山形県酒田地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域
4. 地域型住宅の特徴・具体像		(認証制度等) やまがた県産木材利用センター
(1) 地域の気候・風土、歴史、文化、街並み景観等の特徴 (必須)	<p>○稲作のほか、砂丘地ではメロンやいちごなどの栽培も盛ん。</p> <p>○奥州屈指の港町として栄えた歴史がある。</p> <p>○明治26年に建造され、築100年以上たった今でも農業倉庫として利用されている“木造建築物である山居倉庫”をはじめ、歴史的建造物が数多く残っている。</p>	
(2) 地域材の特徴、地域材供給の現状 (必須)	<p>○主な森林資源はスギ人工林。寒冷な気候下で生育した酒田スギは他地域のスギに比べ目が詰まっており、比較的高い強度を示す傾向にあり、横架材としても利用可能なものが多い。</p> <p>○製材工場では、合法性・持続可能性の事業者認定・JAS認定と認定を取得している</p> <p>○協同組合やまがたの木乾燥センターが、地域の木材製材事業所を盛り立てて普及に務めている。</p>	
(3) 上記を踏まえた地域型住宅の特徴、具体像等 (必須)	<p>○雪と地震に強い家</p> <p>○品質の明確な県産材をあらわしとしてふんだんに利用した木のぬくもりを感じる家</p> <p>○次世代省エネ基準を満たした寒冷地型住宅</p>	
5. 地域型住宅の生産に関する共通ルール	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段	
(1) 地域型住宅の規格・仕様に関する共通ルール (必須)	<p>・積雪荷重を考慮し、スパン表ではなく許容応力度設計を実施</p> <p>・柱は四寸角以上の材を使用</p>	<p>住宅性能評価証と許容応力度設計図書及び、第三者機関の検査を受け、それらが発行する証明書を添付</p> <p>住宅の木拾い表とともに第三者機関が発行する証明書を添付。</p>
(2) 地域型住宅に用いる地域材の供給・加工・利用に関する共通ルール (必須)	<p>・JAS認定を受けた構成員(製材)が参加することにより、主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半にJAS材を使用</p>	住宅の木拾い表、酒田杉認定書、流通時の納入伝票を添付するとともに第三者機関が発行する証明書を添付。
主要構造材(柱・梁・桁・土台)における地域材使用のルール (必須)	・山形県産材認証制度によって産地証明のなされた山形酒田杉を、主要構造材(柱、梁、桁、)の過半に使用	同上
主要構造材以外の部材における地域材使用のルール (必須)	・羽柄材、仕上材、も酒田杉を多く使用して活用する	同上
(3) 地域型住宅の積算に関する共通ルール (任意)	<p>標準設計図書及び標準見積書の作成及び施主への提示。</p> <p>協同購入することによって木材価格が下げられる。</p>	<p>標準設計図書及び標準見積書の作成及び施主への提示。</p> <p>さかた「すぎの子」会から酒田杉を協同購入することによって価格が下げられる為に沢山の木材を使用することが可能。</p>
(4) 地域型住宅で用いる資材(地域材を除く)の調達に関する共通ルール (任意)		
(5) 地域型住宅の施工に関する共通ルール (任意)	<p>地質の応じた地盤調査を選択し実施する。</p> <p>日本住宅保証検査機構に加入し、住宅の施工の検査報告と補助金の受け渡しについて確実に行う。</p>	地盤調査証明書を添付すると共に、第三者機関の検査を受け、それから発行する証明書を添付する。
(6) 地域型住宅の維持管理に関する共通ルール (必須)	<p>・引き渡し後30年後までの維持管理計画書の策定と点検の実施</p> <p>・施工した工務店及び、さかた「すぎの子」会において住宅履歴情報の管理を実施して行く。</p>	<p>維持管理計画書を添付</p> <p>管理する住宅履歴情報の写しを添付</p>
(7) 地域型住宅に関するその他の共通ルール (任意)		

注1) 箇条書きでポイントとなる点を明確に記載してください。

注2) 5の(3),(4),(5),(7)については、各項目の共通ルールを設定した場合に記載してください(その他の欄は必ず記載)。

注3) 5の(2)において、「主要構造材における地域材使用のルール」及び「主要構造材以外の部材における地域材使用のルール」については可能な限り定量的なルールを記載して下さい。

注4) 「個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段」については、定性的な確認手段ではなく、添付資料等により、数値(定量的手法)や有無(○×)で判断が可能なものとします。すなわち、そのような内容で判断ができないものについては、「地域型住宅の生産に関する共通ルール」として設定することはできないこととします。

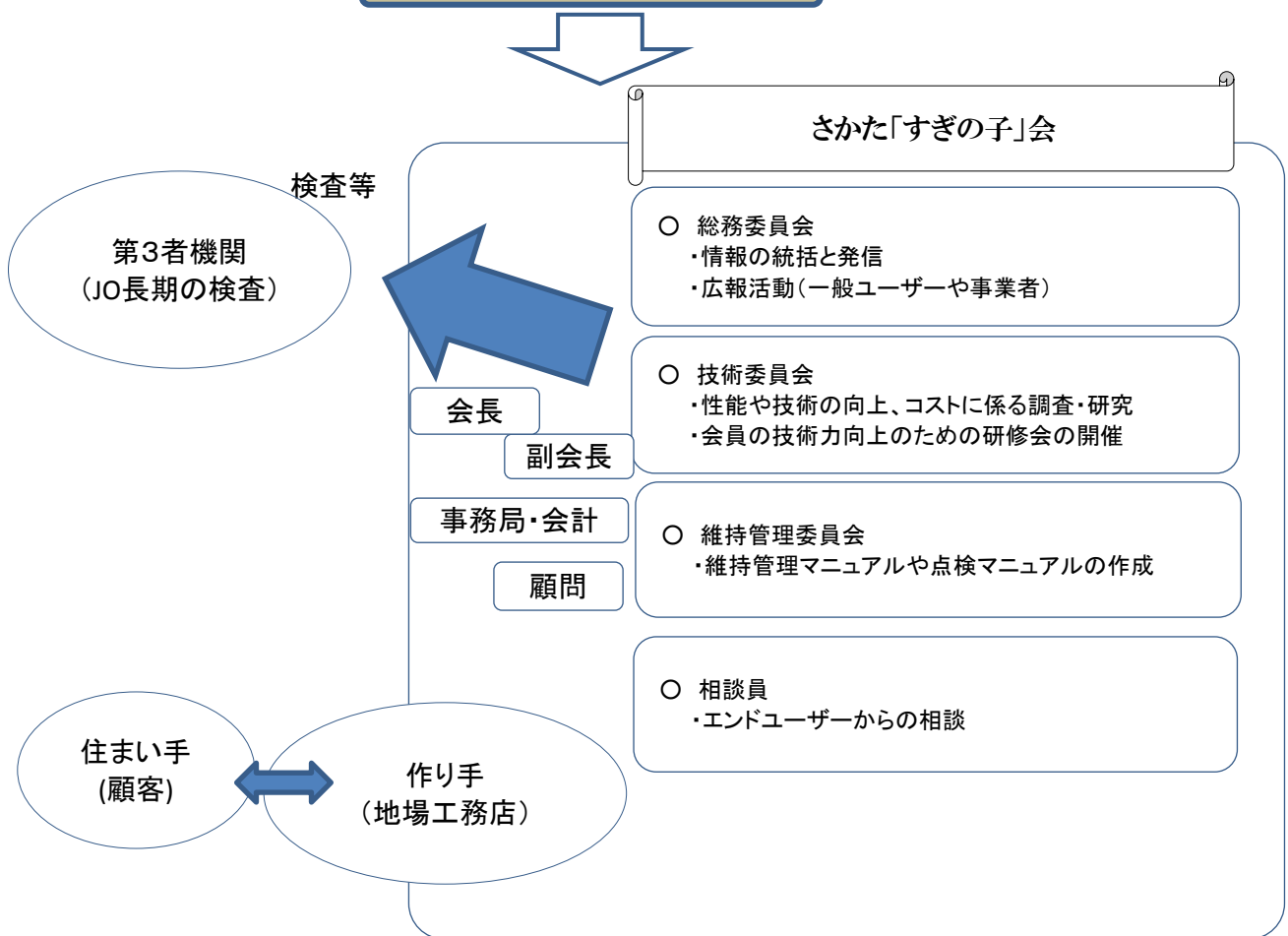
注5) 行が不足する場合は、適宜追加してください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域
		(認証制度等) やまがた県産木材利用センター
4. 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルール等についての説明 (必須)		

酒田森林環境循環型住宅

酒田森林環境循環型住宅は、住まい手と作り手と山元の人たちが一緒になってつくる、良質で長持ちする生涯コストの低い家であり、山形県産材のぬくもりが人を育て、地域の匠の技を現代に活かす家

具体像は、次のとおり



注1) 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルールについて、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域
		(認証制度等) やまがた県産木材利用センター
4. グループ形成のプロセス及び地域型住宅の生産に関する共通ルールの合意形成のプロセス (必須)		
<p>地域型住宅ブランド化事業の形成プロセス及び共通ルールの合意 さかた「すぎの子」会を平成23年4月1日に発足しました。 地域材を普及させる為に、長年に渡り酒田市農林水産課が事務局となっている、さかた木づかい夢ネットの会員として、普及活動をしてきましたが、地域の工務店から地域の杉材をもっと多く使って欲しいとの要望を受け発足したのが「すぎの子」会です。昨年は、さかた木づかい夢ネットの助成を受けて小学校にホール・廊下の腰壁に杉板を張って自然素材の素晴らしさを味わってもらうための工事をしました。先生からは、「杉の木の匂いがして素晴らしいです。子供たちも喜んでいました。」という言葉をもらいました。当初は工務店だけの会にしようかなと思ったのですが、平成24年3月末頃に長期優良住宅は、グループ化になることを聞きましたので、他の企業にも参加を呼びかけてみたところ、快い返事が返ってきました。参加を呼びかけた企業さんは全員参加してくれました。 申請の内容が分からないので、国土交通省に電話したところ、申請申し込み書籍は4月末になることを、担当者から聞いたので準備は4月末頃から始めました。 4月25日に会合を開いて、これからの活動内容の説明、会の名称の確認、会則、役割等を決めました。5月に入って申請内容が確認できたので、他の参加企業に内容説明と申請に必要な書類等のお願い、役割分担、活動の説明をしました。</p> <p>参加企業 原木供給 荒生木材(有) 山の木を伐採・運搬までの仕事をこなす。 製材会社 升川製材(株) 伐採された丸太を製材する。 やまがたの木乾燥センターが敷地内有りに製材された木材を管理・運営をしている。 さかた「すぎの子」会に酒田杉を販売している。 (有)一条製材所 伐採された丸太を製材する。</p> <p>建材流通 金屋株式会社 木材は販売しないが、建材・設備等の販売をしている。 プレカット 山北木材加工協同組合 製材された木材を加工する。 設計 株式会社大井工務店二級建築設計事務所 設計監理をします。 有限会社池澤工務店二級建築設計事務所 設計監理をします。</p> <p>施工 株式会社大井工務店 在来工法で施工します。 有限会社池澤工務店 在来工法で施工します。 佐藤建業 在来工法で施工します。 本田建築 在来工法で施工します。 近藤建築 在来工法で施工します。</p> <p>これからの活動内容は、 ① 求めやすい長期優良住宅の普及。 ② 地域型住宅ブランド化事業の建設を通じ後継者の育成。 ③ ブランドのイメージをどう表現できるか。 ④ 軸組工法で施工しますが、グループ内での標準化に努める。 ⑤ 住宅の維持管理について勉強会を開く。 ⑥ 新規会員の募集の検討 ⑦ お客様に長期優良住宅相談会を開催の検討 以上ではあるがこれから会議において検討・実行していく。</p>		
5. 環境未来都市等、地域におけるプロジェクトや行政上の計画等に関連する場合、それらにおける本申請内容の具体的な位置づけ等(該当する場合のみ記載)		

注1) 各項目について分かりやすく記載して下さい。
 注2) 記載欄のスペースについては適宜調整し、原則として、1枚に収めてください。
 注3) 記載内容の詳細が分かる資料があれば、適宜添付してください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月	
3. 地域材の名称・産地・認証制度等(必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域	(認証制度等) やまがた県産木材利用センター
4. 地域型住宅の生産体制による具体的取組		業種毎の役割分担	
		I II III IV V VI VII VIII	
(1) 地域型住宅の信頼性を確保するための具体的取組(必須)	<ul style="list-style-type: none"> ○構成員の知識や技術力向上のための研修会や連絡会等の随時開催と情報の共有化 ○受注から維持管理までのハンドブック(施主向け及び事業者向け)の作成と、それによる普及啓発活動 ○施主に地域材を使用した数量を示し感謝の気持ちを伝えるために認定書の発行をする 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(2) 地域型住宅の適切な維持管理のための具体的取組(必須)	<ul style="list-style-type: none"> ○上記ハンドブックに基づく、維持管理計画書と点検マニュアルの作成 ○維持管理講習会と定期点検の実施 ○メーカー(基礎パッキン)による5年点検の実施 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(3) 地域型住宅の普及を促進するための具体的取組(必須)	<ul style="list-style-type: none"> ○一般向けの森林～木材加工～住宅づくりの現地見学会を開催 ○地域材を使って主婦を対象とした、日曜大工を開催、指導、材料の供給 ○住宅内覧会で地域材の活用方法をパンフレットを作って説明し相談に対応 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(4) 地域の住宅生産技術の継承に関する具体的取組(任意)	<ul style="list-style-type: none"> ○職人の技術レベルを上げるために毎月一回は、講習会議を開く ○技術の継承の為に年に1件は、墨付け、切り込み加工を手加工にしていく 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
(5) 新しい住宅生産技術の導入に関する具体的取組(任意)	<ul style="list-style-type: none"> ○木材の強度を試験し、使用するヶ所を増やす取組 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(6) 資源の循環利用に関する具体的取組(任意)	<ul style="list-style-type: none"> ○原木供給業者と連絡を取り、間伐材の利用拡大の検討 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(7) 災害時の応急仮設住宅の供給に関する具体的取組(任意)	<ul style="list-style-type: none"> 市と連絡を取りながら緊急時に於ける、仮設住宅の供給体制に参加活動する 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(8) 地域型住宅の生産に関する人材育成その他の取組(任意)	<ul style="list-style-type: none"> ○若手大工や大工を目指す人に、工事中の物件や完成内覧会を開催、技術的指導をし若手の大工を育てる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
5. 平成24年度における地域型住宅の供給予定戸数等(必須)	地域型住宅の供給予定戸数 うち長期優良住宅 30戸 25戸 地域型住宅による地域材使用予定 うち長期優良住宅分 600m ³ 500m ³	(左記の根拠、様式2-1-1に記載した実績との関係等) 補助金の活用により、長期優良住宅の受注に集中的に取り組むこととし、長期優良住宅の供給予定戸数を平成23年実績の割合を20%増しに設定 (左記の根拠、様式2-1-1に記載した実績との関係等) 地域型住宅のは1件当たり20m ³ 以上の杉材を使用することとし左記地域材使用予定量を設定	
6. 地域材使用に充当する他の補助金の名称・概要。他の補助金を充当しない場合は「なし」と記載(必須)	概要:酒田市内に住所が有り、新築、増改築、修繕、模様替えを市内に事務所を有する施工業者が、酒田杉を使って工事を行う場合に限り、上限10万円		
7. 当提案が採択された場合の、各工務店毎の、補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助事業へ参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分し、その上で、これまで長期優良住宅への取組実績が少ない工務店や受注が確実視されている工務店に優先的に配分していく。		

注1) 箇条書きでポイントとなる点を明確に記載してください。

注2) 4の(4)～(8)の欄については、具体的取組がある場合に記載してください(その他の欄は、必ず記載)。

注3) 業種毎の役割分担については、様式2-1-1の業種分類に従って各取組を担う主たる業種に◎、関連して担う業種に○を記載してください。

注4) 行が不足する場合は、適宜追加してください。また、不要な行を削除し、できるだけ1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 酒田森林環境循環型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県酒田地域					
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) さかた「すぎの子」会	(結成年月) 平成23年4月					
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 酒田杉	(産地) 山形県酒田地域					
		(認証制度等) やまがた県産木材利用センター					
4. 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担についての説明 (必須)							
具体的取組	対象者						
	会員	潜在ユーザー	顕在ユーザー				
			構想～設計	設計～契約	着工～完了	完了～入居	入居～維持管理
(1)地域型住宅の信頼性を確保するための具体的取組(必須) 維持管理委員会を設置し、共通ルールの総合的チェックシステムに関する内部検査体制及び第三者機関による外部検査体制の構築	構成員の知識や技術力向上のための研修会や連絡会等の随時開催と情報						
	受注から維持管理までのハンドブック(施主向け及び事業者向け)の作成と、それによる普及啓発						
						施主に地域材を使用した数量を示し、感謝の気持ちを伝えるために認定書の発行をする	
(2)地域型住宅の適切な維持管理のための具体的取組(必須)	上記ハンドブックに基づく、維持管理計画書と点検マニュアル						
				維持管理委員会を設置し、さかた「すぎの子会」による定期点検			
						第三者による点検による5年点検の実施	
(3)地域型住宅の普及を促進するための具体的取組(必須) 総務委員会を設置し、有効で効率的な広報・広告活動システムを構築し、広く活動を展開	一般向けの森林～木材加工～住						
	地域材を使って主婦を対象とした、日曜大工を開催、指導、材料の供給						
	住宅内覧会で地域材の活用方法をパンフレットを作って説明し相談						
(4)地域の住宅生産技術の継承及び人材育成に関する具体的取組	職人の技術レベルを上げるために毎月一回は講習会議を開く						
	技術の継承のために年に一件は、墨付け、切り込み加工を手加工にしてい						
(5)新しい生産技術の導入に関する具体的取組 技術委員会を設置し、新生産技術に関する各種調査研究及び指導	木材の強度を試験し、使用するヶ所を増やす取り組み						

注1) 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担について、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。